

令和 4 年 9 月 1 3 日

桑折町議会

議長 片平 秀雄 様

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策調査特別委員会
委員長 斉藤 謙

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策調査特別委員会中間報告書

令和 2 年第 5 回桑折町議会定例会（6 月 2 2 日）において、本特別委員会が設置され調査付託された事件について、会議規則第 4 7 条第 2 項の規定により中間報告いたします。

記

1. 調査事件 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策に関する調査について

2. 調査の目的 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策に関する調査のため

3. 調査の経過

○特別委員会設置 令和 2 年第 5 回定例会 令和 2 年 6 月 2 2 日（月）

- ・委員数 1 1 名
- ・調査期間 調査事件に掲げる調査が終了するまで

○第 1 回 令和 2 年 6 月 2 2 日（月）

- ・委員長及び副委員長の互選について

○第 2 回 令和 2 年 7 月 1 4 日（火）

- ・調査内容の項目及び優先順位について協議・検討を行った。

○第 3 回 令和 2 年 7 月 2 0 日（月）

- ・新型コロナウイルス感染症に対する農業対策及び支援状況について、産業振興課長より説明を受けた。
- ・新型コロナウイルス感染症に対する商工業の支援状況について、商工観光推進室長より説明を受けた。

- ・避難所における新型コロナウイルス感染症対策について、生活環境課長及び健康福祉課長より説明を受けた。

○第4回 令和2年8月11日（火）

- ・新型コロナウイルス感染症対策に関する7月27日専決処分（一般会計補正予算（第6号））について、総務課長より説明を受けた。
- ・新型コロナウイルス感染症対策に伴う教育関連事業の進捗状況について、こども教育課長より説明を受けた。

○第5回 令和2年8月27日（木）

- ・役場新庁舎議会関連部分の新型コロナ対策についての現地調査のため、建築中の役場庁舎を視察し、新庁舎整備室長より説明を受けた。

○第6回 令和2年11月17日（火）

- ・地域医療提供体制整備の進捗状況とPCR検査体制について、健康福祉課長より説明を受けた。
- ・商工業事業者に対する財政支援等について、商工観光推進室長より説明を受けた。

○第7回 令和3年1月14日（木）

- ・健康福祉課における新型コロナウイルス感染症対策の状況について、健康福祉課長より説明を受けた。
- ・商工観光推進室における新型コロナウイルス感染症対策の状況について、商工観光推進室長より説明を受けた。
- ・今後の課題と調査について、協議・検討を行った。

○第8回 令和3年2月4日（木）

- ・新型コロナウイルス感染症に対する町独自の支援策について、協議・検討を行った。

○第9回 令和3年2月9日（火）

- ・町内高齢者施設及び介護施設における新型コロナウイルス感染症対策（特にクラスター対策）の状況について、健康福祉課長より説明を受けた。

○第10回 令和3年2月18日（木）

・新型コロナウイルス感染症に対する町独自の支援策について、協議・検討を行った。

○第11回 令和3年3月26日（金）

・ワクチン接種に係る体制について、健康福祉課長より説明を受けた。

○第12回 令和3年4月8日（木）

・新型コロナウイルス感染症に対する町独自の支援策について、協議・検討を行った。

○第13回 令和3年5月27日（木）

・新型コロナウイルス感染症に対する町独自の支援策について、協議・検討を行った。

○第14回 令和3年6月11日（金）

・桑折町商工会会員と意見交換会を開催し、①それぞれの商工事業者が、コロナによりどのような影響があるか。②それぞれの商工事業者が、今後どのような方針で対応する考えか。③それぞれの商工事業者が、コロナ支援として行政にどのような要望があるか。について、商工会長ほか6名の会員から意見を戴いた。

○第15回 令和3年7月1日（木）

・桑折町商工会会員との意見交換会の実施結果と今後の課題等に関して、各委員の意見交換会等の感想と今後の当委員会の課題について、協議を行った。

○第16回 令和3年7月20日（火）

・新型コロナウイルス感染症に対する町独自の支援策について、協議・検討を行った。

○令和3年7月21日（水）

・桑折町長に対し、「臨時交付金の有効活用による町内事業者支援への要望書」を、正副委員長より提出した。

○第17回 令和3年8月10日（火）

・新型コロナワクチン接種状況と今後の予定について、健康福祉課長より説明を受けた。

○第18回 令和3年10月12日（火）

- ・「経済的支援と生活支援について」議員間協議を行った。
- ・今後の進め方について協議を行った。

○第19回 令和3年11月19日（金）

- ・「調査項目の5項目について」と「今後の調査項目の目的等に関して」議員間協議を行った。

○第20回 令和4年1月13日（木）

- ・今後の進め方について協議を行い、令和4年3月定例会で最終報告をすることとし今後報告書案を作成することとなった。

○第21回 令和4年1月20日（木）

- ・「コロナ禍における避難所の対応」の調査のため、屋内温水プール・多目的スタジオにて現地調査を行った。生活環境課長より町内避難所におけるコロナ対策状況について説明を受けた。

○第22回 令和4年2月7日（月）

- ・最終報告書（案）について協議を行う予定としていたが、町内感染者数増加傾向のため、6月定例会を目途として報告することとした。

○第23回 令和4年4月20日（水）

- ・新型コロナ感染状況について、健康福祉課長より説明を受けた。

○第24回 令和4年5月24日（火）

- ・学校における新型コロナ感染症対策について、教育文化課長より説明を受けた。
- ・6月定例会報告を目途としていたが、町内感染者数増加傾向のため9月定例会を目途とすることとした。

○第25回 令和4年8月9日（火）

- ・次回特別委員会のテーマについて協議し、来週健康福祉課及び教育文化課を招へい出来たら9月定例会で最終報告とする。もし、招へいできなければ、9月定例会で

は中間報告とすることとした。

○第26回 令和4年8月25日（木）

- ・ 中間報告について、協議・検討を行った。

4. 調査の結果

令和2年6月22日設置「新型コロナウイルス感染症(COVID—19)調査特別委員会は長期間にわたり、検討協議をしてきたが、いまだ、コロナウイルスは終息付かないまま、特別委員会の最終報告とすることには時期尚早との判断から、今回は中間報告とし、最終報告は12月定例会を目途とします。これまで五つの項目(医療体制・教育環境・防災(避難所)・福祉政策・産業)に関して、調査検討してきた結果を中間報告とします。

① 医療体制

新型コロナウイルス感染症防止には、効果があると言われるワクチン接種を全員が受ける体制づくり、また、基本的な行動(マスク着用、手指消毒、換気、密を避ける)の厳守を呼び掛ける。

ワクチン接種率も5歳から11歳で60%を超え、3～4回目の接種も順調に推移している。更なる接種率の向上に向け町民への周知策を講ずる必要がある。また、デルタ株からオミクロン株BA2系統への急速な置き換わりが進み、町内においても急激に感染者が増加してきている。

新聞報道によれば、藤田病院内においても感染者の急増に伴い新規入院者、緊急受け入れを停止することになった。(外来は通常通り) よって、これまでの感染者の推移等を分析(男女別・年齢別等を時系列的に一覧表を作成)し、町民に解りやすく公表し、これまで以上の感染防止対策を強化・徹底する必要がある。なお、町内事業所への注意喚起の徹底策を講ずる必要がある。

② 教育環境

学校等、児童生徒の感染拡大防止を呼び掛ける通知などを保護者宛に配布しながら、注意喚起を促している。

GIGA スクール構想の前倒しから、一人一台タブレット端末を所持したことで自宅学習となった場合でも、学習環境は整備されたことから最大限に有効活用されることを期待する。また、公務システム面でも充実強化を図る必要がある。

③ 防災(避難所)

特別委員会メンバー全員で、イコーゼでの防災体制等の担当課からの説明を受け、委

員全員で簡易テント張り方、コロナ禍での避難所の受付・対応方を確認実施した。

今後においても、水害・地震等による避難者数の把握、特にコロナ感染拡大防止を優先した対応が望まれる。

④ 福祉政策

コロナ禍にあつて失職、減給等から生活困窮者となった方々へ県の支援策、町独自の支援策(個人対象・事業所対象)について協議した。

町独自の個人向けとして、子育て世帯への応援商品券、プレミアム商品券、奨学資金特別貸与等を実施した。尚、更なる支援策の構築を期待したい。

⑤ 産業

商工会メンバーと特別委員会として意見交換を行い、町内事業所等のコロナによる影響度の実態状況を聴取する。

事業者向けとして、事業継続支援給付金、利子補給及び保証料補助等を行ったことで事業継続に効果はあったものと考えられる。

長引くコロナ禍において、今後事業者から聞き取り等を行い、必要な時期に対応できる体制を講ずることを期待する。

R3年7月特別委員会として町へ「臨時交付金活用による町内事業者支援への要望書」を町長宛に提出した。

対応策として、プレミアム商品券の発売などの実施を行った。

なお、当町におけるコロナ感染者数も、8月23日現在607人となり、急激な増加傾向を示している。町民の間では、感染者及び濃厚接触者に対する対応方等に関する支援・指導が不十分との声があり、町民に寄り添うことの視点を充分見直す必要を求めたい。